



地元企業の「夢講座」

～一味違う会社説明会はいかが？～

12月9日(木)は、ハローワークと共催の「地元企業の高校内企業説明会」を本校で実施しました。従来の企業説明会では①企業の説明、②業種や職種説明、③求める人材、④高校生に求めること、①～④が主な内容です。本校ではそれに加え、⑤会社の、または担当者自身の「夢」について語ってもらうことを参加企業20社にお願いし、実施しました。なので、今回の取り組みは題して「夢講座」。

なぜかといいますと、生徒の印象に強く残り、地元企業へ進路決定するきっかけは、会社や仕事そのものの解説よりも、仕事を通して自分の理想(夢)に邁進する地域の大人の熱い姿勢によるからです。

私は、有限会社シュール・ジャポン様の会場にお邪魔してお話を伺いました。喫茶店から宿泊業にまで発展させてきた当社は、『夢(目的)をもって行う掃除と、学校の清掃では掃除の意味が全く違う。』など、生徒に分かりやすく夢を持つことの素晴らしさや大切さを熱く語ってくださっていました。

本校と小海高校の1, 2年の生徒たち140名は、真剣なまなざしで話に聴き入っていました。



竹花工業(株)様



IPDロジスティクス(株)様



(株)エスポワール様



浅間技研工業(株)様



(株)小林スプリング製作所様



(有)シュールジャポン様

困ったお話(その53) (私の課題解決能力)

師走に入ると、世間も学校もあわただしくなる。娑婆の世知辛さを感じる季節だ。先生方から相談がいくつも寄せられるのだが、私はこう見えても以前、「子猫並みの課題解決能力」と宣言したほどの男だ。解決できないことにかけては揺るぎない自信がある。

自身の能力の低さを開き直り、すがすがしい心境で校長室にいと、ノックする音がした。ドアを開けると2人の生徒が目を輝かせ、にこにこ笑いながら立っている。よっぽど私の顔が笑えるのだろう。次に彼女たちが何やら大きくて白い物体を抱えているのが見えた。彼女たちは言った。

『校長先生! 校長室でこの子の写真を撮らせてください。』

『この子?』。私が不思議がるなかで、彼女たちはその白い物体を起こし正面を向かせた。なんと、それは等身大の白クマのぬいぐるみだった。私の椅子にぬいぐるみを座らせ写真を撮りたいという。

さっそく椅子に座らせた。ただ座らせただけでは面白くないので、片手をあげて『やあっ!』というポーズにしたらいいとアドバイスをした。さらに、室内の写真だけではなくみんなが知っている屋外、例えばグラウンドの階段のところでポーズをとると現実に非現実が合わさり面白いよ。と話すと、彼女たちは喜び勇んで出ていった。

何が何だかわからないが、私の(子猫より)高い課題解決能力が発揮できた。



影の校長 保科クマ助先生